

---

## 1. 三木町学校給食センター整備基本計画について

三木町の学校給食施設は、特に小学校において老朽化が進んでおり、建築後 39 年から 48 年を経過するなど施設・設備の老朽化は、深刻な状況となっています。これまで、調理員らの努力と工夫によって学校給食の安全性が保たれていましたが、施設・設備の老朽化によって、その安全性を維持することは難しい状況です。

そこで、今後も子供たちに安全・安心な給食を継続して提供するためには、新たな給食施設の整備が必要不可欠であることから「三木町学校給食施設検討委員会」を立ち上げ、様々な議論を重ねてきました。

検討委員会からの報告書を踏まえ、本町教育委員会は、「三木町学校給食施設整備の基本方針」を策定し、安全・安心な給食の提供はもとより、食育の推進に必要な機能や災害時の有用性の確保等について取り計らった給食センターを整備することとしました。

本基本計画においては、基本方針を顧慮するとともに、本町の学校等給食施設（特に規模が大きく、施設の老朽化を見据えられる時期にある三木中学校）についても勘案し、本町にとってよりよい給食センターの整備について計ります。